



## 平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成22年8月10日

上場会社名 株式会社キョウデン 上場取引所 東  
 コード番号 6881 URL <http://www.kyoden.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉川 英機  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 中西 彦次郎 (TEL) 03(5785)5565  
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月11日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績（平成22年4月1日～平成22年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	9,845	48.7	396	—	328	—	635	—
22年3月期第1四半期	6,621	△35.3	△726	—	△686	—	△577	—

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年3月期第1四半期	13	05	—	—
22年3月期第1四半期	△11	62	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円	銭	
23年3月期第1四半期	41,777	10,293	21.6	185	49			
22年3月期	41,496	11,926	20.2	172	18			

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 9,030百万円 22年3月期 8,382百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
22年3月期	—	0	00	—	1	00
23年3月期	—					
23年3月期(予想)		0	00	—	3	00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無：無

### 3. 平成23年3月期の連結業績予想（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期（累計）は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期（累計）	19,000	26.7	650	—	600	—	800	—	16	43
通期	36,500	8.7	1,000	—	1,000	—	1,050	—	21	57

(注) 当四半期における業績予想の修正有無：有

4. その他（詳細は、[添付資料] P. 3「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動：無

新規社（ ） 除外社（ ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：無

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更：有

② ①以外の変更：無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期1Q	52,279,051株	22年3月期	52,279,051株
23年3月期1Q	3,592,490株	22年3月期	3,592,430株
23年3月期1Q	48,686,593株	22年3月期1Q	49,722,278株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. その他の情報 .....	3
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(5) セグメント情報 .....	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
(7) その他の注記事項 .....	10

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、デフレや雇用情勢に厳しさが残るものの、新興国経済の回復による輸出増加や政府の経済対策効果により企業収益は改善してきております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の売上高は48.7%増の9,845百万円、営業利益は396百万円（前年同期は726百万円の営業損失）、経常利益は328百万円（前年同期は686百万円の経常損失）、四半期純利益は635百万円（前年同期は577百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### (プリント配線基板事業)

プリント配線基板事業におきましては、価格競争の激化や原材料価格の上昇など厳しい状況はあるものの、新興国向け輸出の増加や政府の経済対策により、生産高が大幅に増加いたしました。

この結果、売上高は8,069百万円、営業利益は287百万円となりました。

#### (工業材料事業)

工業材料事業におきましては、硝子長繊維原料や耐火物は、需要が徐々に回復しており、前年同期に比べ販売量は増加いたしました。混和材は、下水道補修材が天候不順等により若干減少するも、工業用原料の需要が回復したことにより、販売量は若干の増加となりました。農薬原料の販売量も若干増加いたしました。

この結果、売上高は1,776百万円、営業利益は110百万円となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期会計期間末における総資産は、41,777百万円となり、前連結会計年度末に比べ280百万円増加しました。主な増減は、現金及び預金の減少639百万円、受取手形及び売掛金の増加445百万円、有価証券の減少299百万円、たな卸資産の増加161百万円及び連結子会社の資産及び負債の評価方法を部分時価評価法から全面時価評価法へ変更したこと等による土地の増加681百万円であります。

負債の残高は31,483百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,913百万円増加しました。主な増減は、支払手形及び買掛金の増加196百万円、短期借入金の増加1,489百万円であります。

純資産の残高は10,293百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,632百万円減少しました。主な増減は、子会社株式の取得による少数株主持分の減少2,280百万円、前期決算に係る配当金48百万円及び四半期純利益635百万円により利益剰余金が586百万円増加したことが主な要因であります。

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の当第1四半期連結累計期間末残高は9,051百万円（前連結会計年度末は10,740百万円）となりました。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は366百万円（前第1四半期連結累計期間は639百万円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益679百万円、減価償却費413百万円、負ののれん発生益488百万円、売上債権の増加額412百万円及び仕入債務の増加額151百万円によるものです。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は3,248百万円（前第1四半期連結累計期間は1,505百万円の使用）となりました。これは主に、子会社株式の取得による支出2,171百万円によるものです。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により得られた資金は1,165百万円（前第1四半期連結累計期間は772百万円の使用）となりました。これは主に、短期借入金の純増加額1,455百万円によるものです。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年5月14日に公表いたしました平成23年3月期の業績予想数値を上方修正いたしました。詳細につきましては、平成22年8月10日に別途公表いたしました「特別損益の計上および業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### ① 資産除去債務に関する会計基準の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、営業利益及び経常利益は0百万円、税金等調整前四半期純利益は、140百万円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は142百万円であります。

#### ② 企業結合に関する会計基準等の適用

当第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)を適用し、連結子会社の資産及び負債の評価方法を部分時価評価法から全面時価評価法へ変更しております。これにより、資産が672百万円、負債が272百万円、純資産が399百万円増加しておりますが、損益及びセグメント情報に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期 連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,851	10,490
受取手形及び売掛金	10,598	10,152
有価証券	500	799
商品及び製品	941	862
仕掛品	1,100	1,101
原材料及び貯蔵品	2,358	2,274
その他	626	656
貸倒引当金	△16	△30
流動資産合計	25,959	26,307
固定資産		
有形固定資産		
土地	6,887	6,205
その他(純額)	7,154	7,246
有形固定資産合計	※1 14,041	※1 13,452
無形固定資産		
	172	156
投資その他の資産		
その他	1,870	1,840
貸倒引当金	△267	△260
投資その他の資産合計	1,603	1,580
固定資産合計	15,817	15,189
資産合計	41,777	41,496
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,916	4,720
短期借入金	8,787	7,298
1年内返済予定の長期借入金	3,068	3,090
未払法人税等	40	117
賞与引当金	210	342
その他	2,523	2,209
流動負債合計	19,549	17,778
固定負債		
社債	1,100	1,100
長期借入金	5,985	6,063
退職給付引当金	1,559	1,523
役員退職慰労引当金	1,310	1,308
負ののれん	※3 707	※3 767
その他	1,271	1,028
固定負債合計	11,934	11,791
負債合計	31,483	29,570

(単位：百万円)

	当第1四半期 連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,358	4,358
資本剰余金	4,159	4,159
利益剰余金	2,086	1,499
自己株式	△681	△681
株主資本合計	9,922	9,335
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	5	8
繰延ヘッジ損益	△5	△8
為替換算調整勘定	△891	△952
評価・換算差額等合計	△891	△952
少数株主持分	1,263	3,543
純資産合計	10,293	11,926
負債純資産合計	41,777	41,496

(2) 四半期連結損益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	6,621	9,845
売上原価	6,155	8,207
売上総利益	466	1,638
販売費及び一般管理費	※1 1,192	※1 1,241
営業利益又は営業損失(△)	△726	396
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	0	0
負ののれん償却額	84	63
その他	73	25
営業外収益合計	162	92
営業外費用		
支払利息	88	85
投資事業組合運用損	—	32
その他	33	42
営業外費用合計	122	160
経常利益又は経常損失(△)	△686	328
特別利益		
固定資産売却益	0	—
賞与引当金戻入額	155	12
役員退職慰労引当金戻入額	18	—
負ののれん発生益	—	488
その他	18	4
特別利益合計	193	504
特別損失		
固定資産除却損	26	4
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	139
その他	12	9
特別損失合計	39	153
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△531	679
法人税、住民税及び事業税	13	38
法人税等調整額	33	25
法人税等合計	47	64
少数株主損益調整前四半期純利益	—	615
少数株主損失(△)	△1	△20
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△577	635



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△531	679
減価償却費	486	413
負ののれん償却額	△84	△63
負ののれん発生益	—	△488
退職給付引当金の増減額(△は減少)	16	33
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△52	1
賞与引当金の増減額(△は減少)	△117	△131
貸倒引当金の増減額(△は減少)	13	△7
受取利息及び受取配当金	△3	△3
支払利息	88	85
固定資産売却損益(△は益)	△0	0
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	139
売上債権の増減額(△は増加)	1,170	△412
たな卸資産の増減額(△は増加)	397	△129
仕入債務の増減額(△は減少)	△595	151
その他	8	271
小計	795	540
利息及び配当金の受取額	3	2
利息の支払額	△84	△82
法人税等の支払額	△74	△93
営業活動によるキャッシュ・フロー	639	366
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額(△は増加)	—	△750
子会社株式の取得による支出	—	△2,171
固定資産の取得による支出	△1,505	△256
固定資産の売却による収入	0	40
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
貸付けによる支出	—	△112
その他	△0	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,505	△3,248
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△884	1,455
長期借入れによる収入	950	500
長期借入金の返済による支出	△505	△646
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△112	△103
自己株式の取得による支出	△94	△0
配当金の支払額	△99	△40
少数株主への配当金の支払額	△24	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△772	1,165
現金及び現金同等物に係る換算差額	20	26
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,617	△1,689
現金及び現金同等物の期首残高	13,076	10,740
現金及び現金同等物の四半期末残高	※1 11,459	※1 9,051

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)

	プリント 配線基板 事業 (百万円)	工業材料 事業 (百万円)	その他の 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	5,325	1,296	—	6,621	—	6,621
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	(—)	—
計	5,325	1,296	—	6,621	(—)	6,621
営業利益又は営業損失(△)	△738	8	△0	△729	3	△726

(注) 1. 事業区分の方法

事業は、内部管理上採用している区分により分けております。

2. 各区分に属する主要な製品等

事業区分	主要製品等
プリント配線基板事業	プリント配線基板
工業材料事業	硝子長繊維用原料、耐火物、混和材、農薬原料

[所在地別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	5,547	1,000	73	6,621	—	6,621
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	24	123	—	148	(△148)	—
計	5,572	1,124	73	6,770	(△148)	6,621
営業利益又は営業損失(△)	△449	△287	△0	△737	10	△726

(注) 1. 国又は地域は、地理的接近度により区分しております。

2. 本邦以外の区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

- (1) アジア・・・タイ、香港
- (2) その他・・・ドイツ

[海外売上高]

前第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)

	アジア	その他	計
I 海外売上高(百万円)	1,055	83	1,139
II 連結売上高(百万円)			6,621
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	15.9	1.3	17.2

(注) 1. 国又は地域は、地理的接近度により区分しております。

2. 各区分に属する主な国又は地域は以下のとおりであります。

- (1) アジア……タイ、中国
- (2) その他……ドイツ

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

[セグメント情報]

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、プリント配線基板事業の事業活動をグループで統合しており、また、連結子会社である昭和K D E株式会社は、工業材料事業の事業活動をグループで統合しております。

したがって、当社は、「プリント配線基板事業」及び「工業材料事業」の2つを報告セグメントとしております。

「プリント配線基板事業」はプリント配線基板の製造・販売、「工業材料事業」は硝子長繊維用原料、耐火物、混和材、農薬原料の製造・販売を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年6月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	プリント 配線基板 事業	工業材料 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,069	1,776	9,845	—	9,845
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	8,069	1,776	9,845	—	9,845
セグメント利益	287	110	397	(△0)	396

(注) 1. セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去△0百万円、各報告セグメントに配分していない  
 全社費用1百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費で  
 あります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要な減損損失はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

重要な変動はありません。

(重要な負ののれん発生益)

「工業材料事業」において、連結子会社である昭和K D E株式会社の株式の公開買付けを実施いたしまし  
 た。当該事象により、当第1四半期連結累計期間において負ののれん発生益488百万円を計上しております。

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3  
 月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月  
 21日）を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) その他の注記事項

(四半期連結貸借対照表関係)

当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末 (平成22年3月31日)								
<p>※1 有形固定資産の減価償却累計額は、22,058百万円 であります。</p> <p>2 受取手形割引高は、481百万円であります。</p> <p>※3 無形固定資産であるのれんと相殺した差額を記載 しております。</p> <p>なお、相殺前の金額は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">のれん</td> <td style="text-align: right;">25百万円</td> </tr> <tr> <td>負ののれん</td> <td style="text-align: right;">732百万円</td> </tr> </table>	のれん	25百万円	負ののれん	732百万円	<p>※1 有形固定資産の減価償却累計額は、21,665百万円 であります。</p> <p>2 受取手形割引高は、393百万円であります。</p> <p>※3 無形固定資産であるのれんと相殺した差額を記載 しております。</p> <p>なお、相殺前の金額は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">のれん</td> <td style="text-align: right;">29百万円</td> </tr> <tr> <td>負ののれん</td> <td style="text-align: right;">796百万円</td> </tr> </table>	のれん	29百万円	負ののれん	796百万円
のれん	25百万円								
負ののれん	732百万円								
のれん	29百万円								
負ののれん	796百万円								

(四半期連結損益計算書関係)

前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)																
<p>※1 販売費及び一般管理費のうち主な費目及び金額は次 のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">給与手当</td> <td style="text-align: right;">376百万円</td> </tr> <tr> <td>賞与引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">41百万円</td> </tr> <tr> <td>退職給付費用</td> <td style="text-align: right;">18百万円</td> </tr> <tr> <td>貸倒引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">5百万円</td> </tr> </table>	給与手当	376百万円	賞与引当金繰入額	41百万円	退職給付費用	18百万円	貸倒引当金繰入額	5百万円	<p>※1 販売費及び一般管理費のうち主な費目及び金額は次 のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">給与手当</td> <td style="text-align: right;">377百万円</td> </tr> <tr> <td>荷造運送費</td> <td style="text-align: right;">263百万円</td> </tr> <tr> <td>賞与引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">49百万円</td> </tr> <tr> <td>退職給付費用</td> <td style="text-align: right;">17百万円</td> </tr> </table>	給与手当	377百万円	荷造運送費	263百万円	賞与引当金繰入額	49百万円	退職給付費用	17百万円
給与手当	376百万円																
賞与引当金繰入額	41百万円																
退職給付費用	18百万円																
貸倒引当金繰入額	5百万円																
給与手当	377百万円																
荷造運送費	263百万円																
賞与引当金繰入額	49百万円																
退職給付費用	17百万円																

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)																
<p>※1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸 借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成21年6月30日現在) (百万円)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">現金及び預金勘定</td> <td style="text-align: right;">11,509</td> </tr> <tr> <td>有価証券勘定</td> <td style="text-align: right;">500</td> </tr> <tr> <td>預入期間が3ヶ月を超える定期預金</td> <td style="text-align: right;">△550</td> </tr> <tr> <td>現金及び現金同等物</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">11,459</td> </tr> </table>	現金及び預金勘定	11,509	有価証券勘定	500	預入期間が3ヶ月を超える定期預金	△550	現金及び現金同等物	11,459	<p>※1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸 借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成22年6月30日現在) (百万円)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">現金及び預金勘定</td> <td style="text-align: right;">9,851</td> </tr> <tr> <td>有価証券勘定</td> <td style="text-align: right;">500</td> </tr> <tr> <td>預入期間が3ヶ月を超える定期預金</td> <td style="text-align: right;">△1,300</td> </tr> <tr> <td>現金及び現金同等物</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">9,051</td> </tr> </table>	現金及び預金勘定	9,851	有価証券勘定	500	預入期間が3ヶ月を超える定期預金	△1,300	現金及び現金同等物	9,051
現金及び預金勘定	11,509																
有価証券勘定	500																
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	△550																
現金及び現金同等物	11,459																
現金及び預金勘定	9,851																
有価証券勘定	500																
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	△1,300																
現金及び現金同等物	9,051																